

## 「小児がん患者における妊孕性温存療法と小児外科の役割に関する後方視的研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。  
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2019年1月1日から2025年7月31日の期間に、埼玉医科大学総合医療センターにおいて小児がんの診断を受け、妊孕性温存療法（卵巣組織凍結保存を目的とした手術）を行った患者さんを対象とします。

#### 2. 研究の目的

小児がん治療の成績向上に伴い、治療後の晩期合併症としての妊孕性低下が課題となっています。卵巣組織凍結保存は、思春期前を含む女児に対して現時点で可能な唯一の妊孕性温存法であり、小児外科は手術や周術期管理を担っています。本研究では、当科で妊孕性温存療法を行った小児がん患者さんについて、患者背景・手術成績・周術期合併症の有無を後方視的に検討し、小児外科の役割を明らかにすることを目的とします。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年11月01日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

診療録に記載された患者背景（年齢、体重、診断名、紹介元など）、手術所見（術式、手術時間、出血量、合併症の有無など）、病理学的所見、術後経過（術後在院日数、術後治療開始時期など）を用います。

※患者さんの氏名など、本人を特定できる情報は研究対象ではなく、個人情報保護されます。

※この研究で得られた情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である牟田 裕紀が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。

#### 2. 試料・情報の取得方法

妊孕性温存療法を目的に卵巣組織凍結保存手術を行った際の診療記録および病理結果等を用います。

#### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学総合医療センター	肝胆膵外科・小児外科	牟田 裕紀（研究責任者）
・埼玉医科大学総合医療センター	肝胆膵外科・小児外科	小高 明雄
・埼玉医科大学総合医療センター	肝胆膵外科・小児外科	井上 成一郎
・埼玉医科大学総合医療センター	肝胆膵外科・小児外科	竹内 優太
・埼玉医科大学総合医療センター	肝胆膵外科・小児外科	林 泰輔
・埼玉医科大学総合医療センター	肝胆膵外科・小児外科	竹村 信行
・埼玉医科大学総合医療センター	産婦人科	高井 泰

・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 増谷 聡

4. 試料・情報の管理責任者

・ 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター

肝胆膵外科・小児外科 牟田 裕紀

TEL：049-228-3620（直通）（平日 9 時～17 時）

○研究課題名：小児がん患者における妊孕性温存療法と小児外科の役割に関する後方視的研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科 牟田 裕紀